



端末設定とセッションの設定

この章では、端末設定とセッションを構成する方法について説明します。

- [端末設定とセッションの概要, on page 1](#)
- [コンソール ポートの設定, on page 3](#)
- [仮想端末の設定, on page 5](#)
- [モデム接続の設定 \(7 ページ\)](#)
- [ターミナル セッションのクリア, on page 11](#)
- [端末およびセッション情報の表示 \(11 ページ\)](#)
- [ファイル システム パラメータのデフォルト設定, on page 12](#)
- [端末設定とセッションの関連資料 \(12 ページ\)](#)

端末設定とセッションの概要

ここでは、端末設定とセッションの概要について説明します。

ターミナル セッションの設定

Cisco NX-OS ソフトウェア機能では、端末の次の特性を管理できます。

端末タイプ

リモート ホストと通信する際に Telnet で使用される名前

Length

一時停止する前に表示されるコマンド出力の行数

幅

行を折り返す前に表示される文字数

非アクティブ セッションのタイムアウト

デバイスによって停止される前にセッションが非アクティブの状態でいられる分数

コンソール ポート

コンソールポートは非同期のシリアルポートで、初期設定用に、RJ-45 コネクタを使用して標準 RS-232 ポート経由でデバイスに接続できます。このポートに接続されるデバイスには、非同期伝送の機能が必要です。コンソール ポートには、次のパラメータを設定できます。

データ ビット

データに使用するビット数を 8 ビットのバイト単位で指定します。

非アクティブ セッションのタイムアウト

セッションが終了になるまでの非アクティブ時間を分単位で指定します。

パリティ

エラー検出用の奇数パリティまたは偶数パリティを指定します。

スピード

接続の送信速度を指定します。

ストップ ビット

非同期回線に対するストップ ビットを指定します。

ターミナルエミュレータは、9600 ボー、8 データ ビット、1 ストップ ビット、パリティなしに設定してください。

仮想端末

仮想端末回線を使用して、Cisco NX-OS デバイスを接続できます。セキュア シェル (SSH) および Telnet は、仮想ターミナルセッションを作成します。仮想端末の非アクティブ セッション タイムアウトおよびセッション数の上限を設定できます。

モデムのサポート

モデムはスーパーバイザ モジュールのコンソール ポートに接続できます。Cisco NX-OS ソフトウェアが動作するデバイス上で、次のモデムがテスト済みです。

- MultiTech MT2834BA (http://www.multitech.com/en_us/support/families/multimodemii/)
- Hayes Accura V.92 (http://www.zoom.com/products/dial_up_external_serial.html#hayes)



(注) デバイスの起動中にモデムを接続しないでください。必ずデバイスの電源がオンになってから、モデムを接続してください。

Cisco NX-OS ソフトウェアには、接続されたモデムを検出するためのデフォルトの初期化ストリング (ATE0Q1&D2&C1S0=1\015) があります。このデフォルトストリングの定義は次のとおりです。

AT

Attention

E0 (必須)
 エコーなし
Q1
 結果コードを有効化
&D2
 通常のデータ端末動作可能 (DTR) オプション
&C1
 データ キャリア状態の追跡がイネーブル
S0=1
 1 回の呼び出し音の後に応答
\015 (必須)
 8 進数の復帰 (CR) コード

コンソール ポートの設定

コンソール ポートに対して次の特性を設定できます。

- データ ビット
- 非アクティブ セッションのタイムアウト
- パリティ
- スピード
- ストップ ビット

Before you begin

コンソール ポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **databits *bits***
4. **exec-timeout *minutes***
5. **parity {*even* | *none* | *odd*}**
6. **speed {*300* | *1200* | *2400* | *4800* | *9600* | *38400* | *57600* | *115200*}**
7. **stopbits {*1* | *2*}**
8. **exit**
9. (Optional) **show line console**
10. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 2	line console Example: <pre>switch# line console switch(config-console)#</pre>	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	databits <i>bits</i> Example: <pre>switch(config-console)# databits 7</pre>	1バイトあたりのデータビット数を設定します。指定できる範囲は5～8です。デフォルトは8です。
ステップ 4	exec-timeout <i>minutes</i> Example: <pre>switch(config-console)# exec-timeout 30</pre>	非アクティブセッションのタイムアウトを設定します。有効値は0～525600分（8760時間）です。0分の値を設定すると、セッションタイムアウトはディセーブルになります。デフォルトは30分です。
ステップ 5	parity {even none odd} Example: <pre>switch(config-console)# parity even</pre>	パリティを設定します。デフォルトは none です。
ステップ 6	speed {300 1200 2400 4800 9600 38400 57600 115200} Example: <pre>switch(config-console)# speed 115200</pre>	送信および受信速度を設定します。デフォルトは 9600 です。
ステップ 7	stopbits {1 2} Example: <pre>switch(config-console)# stopbits 2</pre>	ストップ ビットを設定します。デフォルトは 1 です。
ステップ 8	exit Example: <pre>switch(config-console)# exit switch(config)#</pre>	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 9	(Optional) show line console Example: <pre>switch(config)# show line console</pre>	コンソールの設定値を表示します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 10	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

仮想端末の設定

ここでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想端末を設定する方法について説明します。

非アクティブセッションタイムアウトの設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルの非アクティブセッションのタイムアウトを設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3. **exec-timeout** *minutes*
4. **exit**
5. (Optional) **show running-config all | begin vty**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 2	line vty Example: <pre>switch# line vty switch(config-line)#</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	exec-timeout <i>minutes</i> Example: <pre>switch(config-line)# exec-timeout 30</pre>	非アクティブセッションタイムアウトを構成します。有効値は 0 ～ 525600 分（8760 時間）です。0 分の値を設定すると、タイムアウトはディセーブルになります。デフォルト値は 30 です。

	Command or Action	Purpose
ステップ 4	exit Example: <pre>switch(config-line)# exit switch(config)#</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(Optional) show running-config all begin vty Example: <pre>switch(config)# show running-config all begin vtty</pre>	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

セッション制限の設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルセッションの数を制限できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3. **session-limit sessions**
4. **exit**
5. (Optional) **show running-config all | being vty**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 2	line vty Example: <pre>switch# line vty switch(config-line)#</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを開始します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 3	session-limit <i>sessions</i> Example: <code>switch(config-line)# session-limit 10</code>	Cisco NX-OS デバイス向けの仮想セッションの最大数を設定します。範囲は 1 ～ 64 です。デフォルトは 32 です。
ステップ 4	exit Example: <code>switch(config-line)# exit</code> <code>switch(config)#</code>	ライン コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(Optional) show running-config all begin vty Example: <code>switch(config)# show running-config all begin vty</code>	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(Optional) copy running-config startup-config Example: <code>switch(config)# copy running-config startup-config</code>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

モデム接続の設定

ユーザーはモデムをコンソール ポートに接続できます。

モデム接続のイネーブル化

モデムを使用する前に、ポートでモデム接続をイネーブルにする必要があります。

始める前に

コンソール ポートにログインします。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **modem in**
4. **exit**
5. (任意) **show line**
6. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 2	line console	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	modem in	ポートでモデム入力をイネーブルにします。
ステップ 4	exit	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(任意) show line 例： switch(config)# show line	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 6	(任意) copy running-config startup-config 例： switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

デフォルトの初期化ストリングのダウンロード

Cisco NX-OS ソフトウェアによって、モデムと接続するためにダウンロードできるデフォルトの初期化ストリングが提供されます。デフォルトの初期化文字列は ATE0Q1&D2&C1S0=1\015 です。

始める前に

コンソール ポートにログインします。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **modem init-string default**
4. **exit**
5. (任意) **show line**
6. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : switch# configure terminal switch(config)#	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 2	line console	
ステップ 3	modem init-string default	デフォルトの初期化ストリングをモデムに書き込みます。
ステップ 4	exit	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(任意) show line 例 : switch(config)# show line	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 6	(任意) copy running-config startup-config 例 : switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

ユーザ指定の初期化ストリングの設定およびダウンロード

デフォルトの初期化ストリングがお使いのモデムと互換性がない場合、独自の初期化ストリングを設定したり、ダウンロードしたりすることができます。

始める前に

コンソール ポートにログインします。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **modem set-string user-input *string***
4. **modem init-string user-input**
5. **exit**
6. (任意) **show line**
7. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	line console	
ステップ 3	modem set-string user-input string	コンソールポート用のユーザー指定の初期化ストリングを設定します。この初期化ストリングは、最大 100 文字の長さの英数字で、大文字と小文字が区別され、特殊文字を含むことができます。 (注) ストリングを初期化する前に、まずユーザ入力 of ストリングを設定する必要があります。
ステップ 4	modem init-string user-input	ユーザー指定の初期化ストリングを、コンソールポートに接続されたモデムに書き込みます。
ステップ 5	exit	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 6	(任意) show line 例： switch(config)# show line	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 7	(任意) copy running-config startup-config 例： switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

電源がオンになっている Cisco NX-OS デバイスのモデムの初期化

電源がオンになっている物理デバイスにモデムを接続する場合、モデムを使用する前に初期化する必要があります。

始める前に

Cisco NX-OS デバイスがブートシーケンスを完了し、システムイメージが実行されるまで待つてから、モデムをデバイスのコンソールポートに接続します。

ポートでモデム接続をイネーブルにします。

手順の概要

1. modem connect line console}

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	modem connect line console} 例 : <pre>switch# modem connect line console</pre>	デバイスに接続されたモデムを初期化します。

ターミナルセッションのクリア

Cisco NX-OS デバイスのターミナルセッションをクリアできます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show users**
2. **clear line name**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show users Example: <pre>switch# show users</pre>	デバイスのユーザセッションを表示します。
ステップ 2	clear line name Example: <pre>switch# clear line pts/0</pre>	特定の回線のターミナルセッションをクリアします。回線名では大文字と小文字が区別されます。

端末およびセッション情報の表示

端末およびセッション情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show terminal	端末設定を表示します。
show line	コンソール ポートの設定を表示します。
show users	仮想ターミナルセッションを表示します。
show running-config [all]	実行コンフィギュレーションのユーザ アカウント設定を表示します。 all キーワードを指定すると、ユーザ アカウントのデフォルト値が表示されます。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンドリファレンス ガイドを参照してください。

ファイル システム パラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイル システム パラメータのデフォルト設定を示します。

Table 1: デフォルトのファイル システム 設定

パラメータ	デフォルト
デフォルト ファイル システム	bootflash:

端末設定とセッションの関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco NX-OS ライセンス設定	『Cisco NX-OS ライセンス ガイド』
コマンド リファレンス	Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS 基本コマンド リファレンス

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。